

令和5年度の一般会計と特別会計・事業会計の予算総額は、121億8,808万円です。

「第5次総合計画」及び「大刀洗よかまち創生プロジェクト」の各事業やマニフェストで掲げた政策を進めていくために必要な予算です。

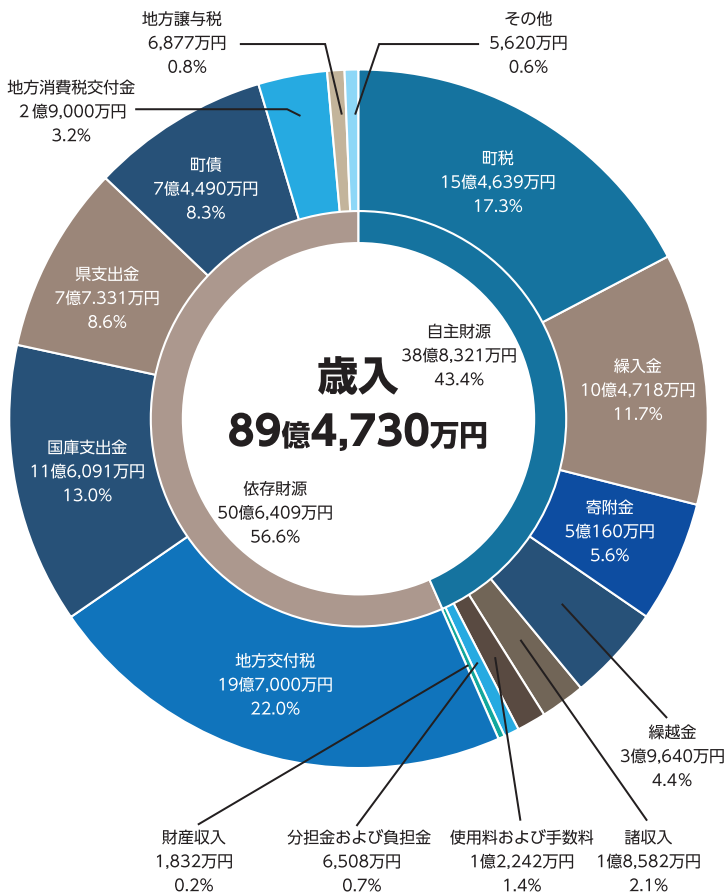
※金額は表示単位未満を四捨五入しているため、合計が一致しない場合があります。

令和5年度

予算



一般会計歳入内訳



一般会計予算総額

89億4,730万円

「子育てしやすいまちづくり」の推進に向け子育て支援を強化

本年度は特に「子育てしやすいまちづくり」の推進に向け、子ども医療費助成対象を18歳まで拡充するほか、健康管理センターの改修工事を行い、「子ども家庭総合支援拠点」の設置に取り組みます。妊娠初期から出産・子育て期まで一貫して相談に応じ、様々なニーズに即した支援につなぐ伴走型相談支援と妊娠や出産後の経済的支援を一体的に行う出産・子育て応援事業を実施するなど、支援の充実に取り組みます。

また、現在の物価高騰を踏まえ学校及び保育園の給食費の補助を増額します。

主要な事業は次ページで紹介しています。町の予算書はHPにも載せています。

町税の内訳

町民税 (個人)	5億6,710万円
町民税 (法人)	4,634万円
固定資産税等	7億4,236万円
軽自動車税	5,712万円
たばこ税	1億3,346万円

その他の内訳

利子割交付金	80万円	環境性能割交付金	800万円
配当割交付金	500万円	地方特例交付金	2,000万円
株式等譲渡所得割交付金	600万円	交通安全対策交付金	240万円
法人事業税交付金	1,400万円		

用語解説

【一般会計と特別会計】

◆一般会計 町の基本的・全般的な経費を経理する会計。

◆特別会計 特定の事業を行うために、一般会計と区分して経理する会計。

◆公営企業会計 民間企業と同様の会計基準に基づき、発生主義、複式簿記を採用して運営する会計。

【町債と基金】

◆町債 公共施設、下水道などの整備に充てた借入金で町が発行する地方債。公共施設等は将来にわたり使用できることから、世代間の公平性と財政負担の平準化の観点から必要な財源として活用している。

◆臨時財政対策債 地方交付税で保障されるべき財源を国が確保できない場合に、国の代わりに町が借り入れる町債。借入金の返済金は後年度の地方交付税額の算定に反映される。

◆基金 特定の目的のために資金を積み立てて、財産の維持や事業費財源として活用するために準備するもの。年度間の財源不足に備える「財政調整基金」や町債の償還に備える「減債基金」、公共施設や教育施設の整備、ふるさと振興など特定の目的を持った基金がある。

【歳入】

◆町税 町民税、固定資産税、町たばこ税、軽自動車税等。

◆繰入金 基金(積立金)の取り崩し及び特別会計からの繰入。

◆地方交付税 国税の中から町の財政事情に応じて国から交付されるお金。

◆国庫支出金 特定の事業のために国や県から交付されるお金。

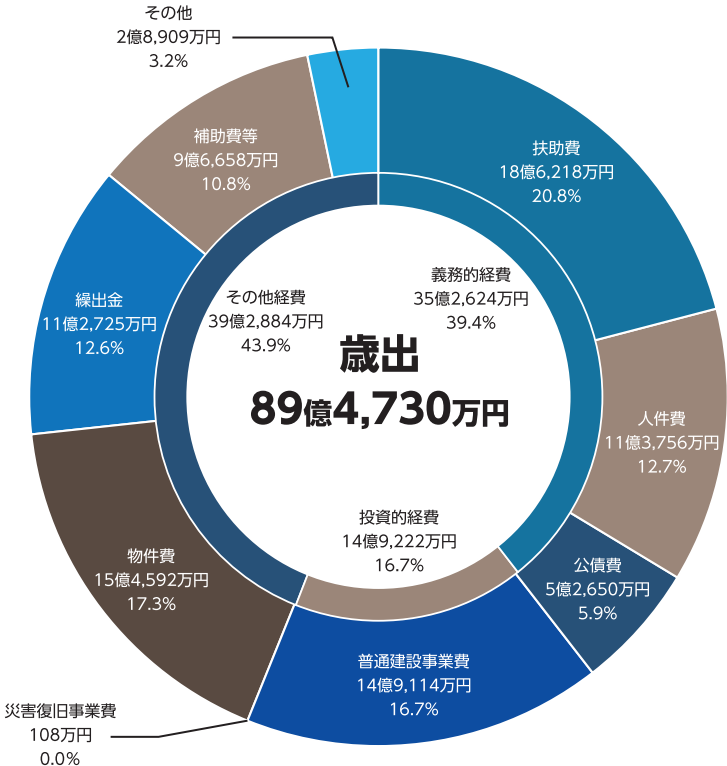
◆自主財源 町税や使用料など、町が自ら徴収、収納できる財源。

◆依存財源 地方交付税、国・県支出金、町債など、国または県が関わる財源。

一般会計歳出内訳（目的別）

民生費 29億6,974万円 (18万5,655円)	総務費 13億2,074万円 (8万2,567円)	教育費 12億565万円 (7万5,372円)
衛生費 8億7,065万円 (5万4,429円)	農林水産業費 8億3,566万円 (5万2,242円)	土木費 8億1,948万円 (5万1,230円)
公債費 5億2,650万円 (3万2,914円)	消防費 2億8,709万円 (1万7,948円)	議会費 7,535万円 (4,711円)
その他 (商工費、災害復旧費など) 3,644万円 (2,278円)	()内は町民1人あたり内訳 ※5年1月末現在の住民基本台帳人口15,996人 一般会計予算額89億4,730万円を町民1人あたりに換算すると55万9,346円になります。	

一般会計歳出内訳（性質別）



その他の内訳

維持補修費	1,104万円	貸付金	31万円
積立金	2億6,504万円	予備費	1,000万円
投資および出資金	270万円		

特別会計・
公営企業会計予算総額

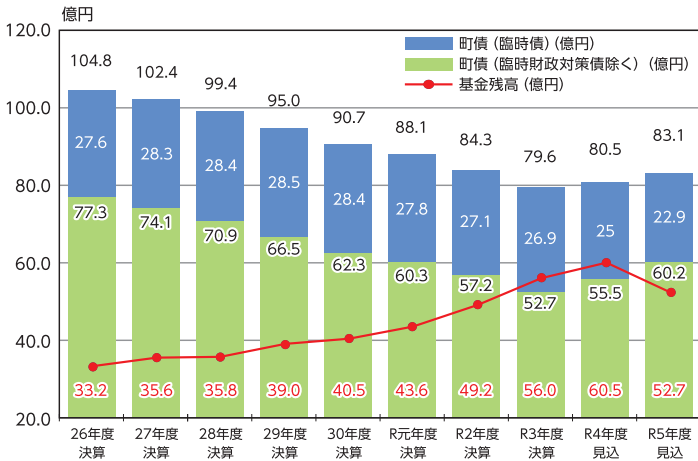
32億4,078万円

下水道特別会計が公営企業会計へ

【会計名】 (前年度比)

特別会計	国民健康保険	17億9,507万円	-0.6%
	後期高齢者医療保険	2億4,336万円	+8.4%
	土地取得	478万円	+1.7%
公営企業会計	下水道事業	11億9,757万円	—
	収益的支出	7億3,533万円	—
	資本的支出	4億6,224万円	—

町債および基金残高（年度末）



【目的別歳出】
地方公共団体の経費を行政目的別に分類するもの。
▼民生費 障害者、高齢者に対する福祉の充実や子育て支援などの経費。
▼総務費 行政運営、選挙、自治振興等行政全般の事務に関わる経費。
▼教育費 学校教育・生涯学習の充実、文化スポーツの振興に係る経費。
▼農林水産業費 農林業振興のための支援や農業生産基盤整備などの経費。
▼土木費 道路や河川、住宅、公園など社会資本の整備・管理に係る経費。
▼衛生費 環境保全、疾病予防、健康増進などの経費。
▼消防費 消防署や消防団の運営に係る経費や防災に関する経費。
▼議会費 議会運営のための経費。
▼商工費 商工業や観光の振興などに関する経費。

【性質別歳出】
地方公共団体の経費を性質別に分類するもので、義務的経費、投資的経費、その他の経費に区分される。
▼扶助費 社会保障制度の一環で、生活を維持するために支出する経費。児童手当、障害者自立支援費、各種医療給付費等。
▼人件費 常勤職員給与、非常勤職員報酬、社会保険料等。
▼公債費 事業を行うために借りたお金（町債）の元金・利子等を支払う経費。
▼普通建設事業費 道路、橋りょう、学校等の新增設事業費等。
▼災害復旧事業費 豪雨や台風等自然災害被害の復旧に要する経費。
▼物件費 光熱水費や物品購入、委託料等の消費的な経費。
▼繰出金 特別会計に対して繰出すお金。
▼補助費等 各種団体等への補助金、構成員等の割合に基づき負担する負担金等。
▼義務的経費 人件費、扶助費、公債費など支出が義務付けられる経費。
▼投資的経費 道路整備や学校建設など、社会資本の整備に要する経費。
▼その他の経費 物件費や維持補修費などに支出される経費。

このような事業に取り組みます

令和5年度に取り組む
主な事業を、新規事業を
中心に第5次大刀洗町総
合計画の基本目標に沿っ
て紹介します。



1 豊かな暮らし (快適、美しい、安心、賑わい)

○のりあい定額タフシー事業

805万円

(県補助242万円、基金等563万円)

町民の移動手段を充実させるため、タフシー事業者と連携し利用者負担を定額とする乗合タフシーを運行します。

○資源回収ステーションモデル事業

99万円

(基金等99万円)

ごみの減量化と住民のライフスタイル意識の向上、ごみを起点とした地域住民が交流できる場づくりのため、町内4校区センターに資源回収できる場所とふれあいセンターに生ごみ資源化装置を設置します。

○公園管理費(工事) NEW

664万円

(基金等664万円)

大堰公園転落防止柵、桜つつみ公園砂場撤去、大刀洗公園進入路改修等の工事を行います。

○ため池浚渫工事

4億7,664万円

(県補助4,500万円、

地方債4億3,110万円、

一般財源54万円)

防災重点農業用ため池に指定された3か所の浚渫工事を実施し、下流域の農地等の洪水被害や土砂流出被害の軽減を図ります。

○ため池耐震調査業務 NEW

2,099万円

(国補助2,099万円)

防災重点農業用ため池のうち、防災工事等推進計画に基づき評価を優先的に実施する必要のある2つのため池(琵琶、温水)について、国の事業を活用し地震・豪雨などの耐性評価を実施します。

2 輝くひと (健やか、温かい、学び)

○子ども医療費支給事業

7,014万円

(県補助2,810万円、

基金等4,204万円)

10月診療分から対象を高校生等まで拡大します。

○学校給食費補助事業

1,546万円

(基金等1,546万円)

物価高騰等により増額した小・中学校の給食費を補助するため、補助額を月額1,000円に拡充します。

○出産・子育て応援給付金 NEW

1,028万円

(国補助686万円、県補助171万円、

基金等171万円)

妊娠から出産・子育てまで一貫した伴走型相談支援と経済的支援を行います。

○菊池小学校増築工事 NEW

3億926万円

(国補助7,155万円、

地方債6,400万円、

基金等1億7,371万円)

特別支援学級の増加及び今後の教室不足の解消のため、校舎増築及び駐車場整備を行います。

○運動公園遊具新設工事 NEW

2,770万円

(基金等2,770万円)

運動公園に多世代での健康づくりや体力づくりを推進するための遊具を設置します。

○アピランスケア推進事業 NEW

18万円

(県補助9万円 一般財源9万円)

がん患者やがん経験者へ医療用ウィッグや補正具等の購入費用の一部を助成します。

○健康管理センター改修工事

2億2,906万円

(国補助666万円、地方債1億円、

基金等1億1,333万円、

一般財源907万円)

すべての子どもとその家庭及び妊産婦を支援する「子ども家庭総合支援拠点」を設置するため、健康管理センターを改修します。

○骨髓移植ドナー助成事業 NEW

20万円

(県補助10万円、一般財源10万円)

骨髓提供者の通院や入院等に要した日数に応じて1日あたり2万円の助成をします。

3 繋がるまち (協働、拓く)

○校区センター大規模改修工事 NEW

718万円

(基金等718万円)

安全で快適な地域活動を行うために老朽化した校区センターの大規模改修を行います。

○児童遊園(広場)草刈費用補助金 NEW

63万円

(基金等63万円)

大刀洗町がもらい受け、地元で管理を行っている児童遊園(広場)の草刈等を委託する費用の一部を補助します。

